

多国間制裁監視チーム(MSMT)運営委員会第1回会合の開催に関する
共同声明(仮訳)
2025年2月

豪州、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、韓国、英国及び米国の政府は、2025年2月19日にワシントンD. C. において、多国間制裁監視チーム(MSMT)運営委員会第1回会合を開催した。MSMTの目的は、関連する制裁違反・回避の試み及び成功した執行の取組に関する厳密な調査に基づく報告書及び情報を公表することにより、北朝鮮に関する国連安全保障理事会(安保理)決議の完全な履行を支援することである。2024年3月にロシアが拒否権を行使し、安保理北朝鮮制裁委員会(1718委員会)専門家パネルが終了したことを受けて、2024年10月にMSMTが設立された。

MSMT参加国は、国際の平和及び安全を堅持し、グローバルな不拡散体制を保護し、また、北朝鮮の大量破壊兵器・弾道ミサイル計画から生じる脅威に対処するというコミットメントにおいて一致している。MSMT運営委員会は、北朝鮮に関する安保理決議を完全に履行するという共通の決意を強調する。我々は、対話への道は依然として開かれていることを再確認し、また、北朝鮮及び安保理決議違反を助長する国々からの脅威が継続する中、全ての国に対し、国際の平和及び安全を維持するためのグローバルな取組に参加するよう求める。